

正誤表（達成状況評価）

65：広島大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p.5	平成 31 年度末時点の締結数は合計 88 件となった。	平成 31 年度末時点の締結数は合計 <u>89 件</u> となった。	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
02	p.30	その結果、本課程を修了したすべての者が専修免許状を取得し、教員就職率については、平成 29 年度修了生（第一期生）が 100%、平成 30 年度修了生（第二期生）が 90%、平成 31 年度修了生（第三期生）が 100%（予定）となった。なお、平成 30 年度修了生について、教員就職率は 90%となったのは、ストレートマスタの 1 人が大学院博士課程後期への進学を、他の 1 人が家庭の事情により一般企業への就職を選択したためであり、教員就職希望者の就職率は 100%であった。	その結果、本課程を修了したすべての者が専修免許状を取得し、 <u>現職教員を除く修了者の</u> 教員就職率については、平成 29 年度修了生（第一期生）が 100%、平成 30 年度修了生（第二期生）が <u>75%</u> 、平成 31 年度修了生（第三期生）が 100%（予定）となった（ <u>各年度、修了年 9 月 30 日現在の数値</u> ）。なお、 <u>令和 2 年 6 月現在</u> 、平成 30 年度修了生について、 <u>現職教員を含む</u> 教員就職率は 90%と <u>なった</u> 。ストレートマスタの 1 人が大学院博士課程後期への進学を、他の 1 人が家庭の事情により一般企業への就職を選択した。 <u>教員就職希望者の就職率は 100%であった。</u>	教員就職率について、文部科学省公表数値の定義と合わせたため。
03	p.33	平成 30 年修了生（第二期生）においても全修了生が専修免許状を取得したが、ストレートマスタの 1 人が大学院博士課程後期への進学を、他の 1 人	平成 30 年修了生（第二期生）においても全修了生が専修免許状を取得したが、 <u>現職教員を除く修了者の教員就職率は 75%となった。</u>	教員就職率について、文部科学省公表数値の定義と合わせたため。

正誤表（達成状況評価）

		が家庭の事情により一般企業への就職を選択したため、教員就職率は90%となった。		
04	p.64 (表)	平成31年度SCI論文数 2,524報(1.50倍)	平成31年度SCI論文数 <u>2,329報(1.39倍)</u>	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
05	p.64 (表)	平成31年度国際共著論文数 932報(1.95倍)	平成31年度国際共著論文数 <u>895報(1.87倍)</u>	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
06	p.64 (表)	平成31年度国際共著率 36.9%	平成31年度国際共著論文数 <u>38.4%</u>	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
07	p.77	包括的連携協定の締結の拡充(平成31年度末時点88件),	包括的連携協定の締結の拡充(平成31年度末時点 <u>89件</u>),	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
08	p.78	包括的研究協力協定締結数の増加(平成27年度:59件→平成31年度:88件, 増加率:49.2%)	包括的研究協力協定締結数の増加(平成27年度:59件→平成31年度: <u>89件</u> , 増加率: <u>50.8%</u>)	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
09	p.81	平成31年度末時点で合計88件となった。	平成31年度末時点で合計 <u>89件</u> となった。	報告書提出後の確定値として修正が生じたため
10	p.88	包括協定締結数 平成31年度実績:88件 増加率:49.2%	包括協定締結数 平成31年度実績: <u>89件</u> 増加率: <u>50.8%</u>	報告書提出後の確定値として修正が生じたため